

海外安全対策情報（平成28年7月～9月）

1 社会・治安情勢

社会情勢は概ね安定している。一方で凶悪犯罪が増加した犯罪動向には注意が必要。なお、西豪州警察によれば、2016年は前年に比較し犯罪発生件数が減少し、犯罪検挙率は増加している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 西豪州警察当局が発表した西豪州今回7～9月期の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数は70,173件で、4～6月期(71,212件)と比較して1.46%減少しているものの、殺人、強姦といった凶悪犯罪が増加している。また、パース首都圏に人口が集中していることもあり、西豪州で発生する犯罪の約74%がパース首都圏で発生している。

件数としては窃盗が一番多いことから、十分な注意が必要。これに関し西豪州警察は、公園やビーチの駐車場は狙われやすいため、駐車の際には車内の見える場所に荷物を置かない、不在中や在宅中を問わず貴重品は鍵のかかる場所に保管する、人混みの中では鞆など持ち物に気を配ることなどを呼びかけている。

(2) 今期の主な犯罪発生件数内訳は以下のとおり。

(ア) 西豪州全体

①家庭内暴行	4,848件	(前期比)	-2.34%
②家庭外の暴行	2,701件	(同)	-5.53%
③脅迫	1,877件	(同)	+7.94%
④住居侵入窃盗	6,459件	(同)	-7.54%
⑤殺人	24件	(同)	+33.33%
⑥窃盗	20,950件	(同)	-5.91%
⑦強姦	583件	(同)	+21.97%
⑧麻薬	9,756件	(同)	+7.22%
⑨詐欺	4,352件	(同)	+11.50%

(イ) パース首都圏

①家庭内暴行	3,037件	(前期比)	-7.04%
②家庭外の暴行	1,931件	(同)	-6.81%
③脅迫	1,284件	(同)	+2.39%
④住居侵入窃盗	5,272件	(同)	-2.89%
⑤殺人	18件	(同)	+28.57%
⑥窃盗	17,381件	(同)	-5.29%
⑦強姦	446件	(同)	+33.53%
⑧麻薬	6,982件	(同)	+11.16%
⑨詐欺	3,348件	(同)	+18.14%

(3) 邦人被害事案

在留邦人が被害者となった交通事故や、シェアハウス退去時のbond返金トラブルなどの事案が発生している。

3 テロ・爆弾事件発生状況

現時点で、当地でのテロリスト・グループ等の活動に関する具体的な情報には接していないが、テロに関する一般的な警戒は必要である。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特異な事件は報告されていない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

当地では一般的に対日感情は良好であり、現在までのところ日本企業の安全の脅威になる問題は報告されていない。